

# アグアスだより

2016年10月号

## 鳥の子育て

“ツツピー、ツツピー”，日本では，春になるときまって，庭でこの鳴き声が聴こえてきます。シジュウカラの鳴き声です。このシジュウカラは，毎年家の巣箱に来るお客さまで，いつもその愛らしい姿に心を和ませてもらっています。シジュウカラを観察すると，親鳥の子へのかいがいしさに感心します。両親で交互に行き来して，ヒナに生きたエサを与えます。親が巣に入ると，ヒナたちが一斉に“ピーピー，ピーピー”と鳴き始めます。親はエサをあげると，すぐに，次のエサを探しに行きます。飛び立つついでにヒナのフンをくわえて行きます。巣の中の衛生にも気を配っているのです。朝から晩までやっついてよく疲れな，と思うほどかいがいしく世話をします。子育ての最後頃になると，親鳥はすっかりやつれてしまい，羽の手入れもできず，全身がボロボロになっています。それでも，ヒナたちが空腹で鳴くと，エサを探しにフラフラと飛び立っていくのです。本能的な行動とはいえ，気の毒になります。

昔から鳥とは不思議な縁があります。かつて，家の前にスズメのヒナが落ちていて，飼って育てたことがあります。そんなときも，家族のなかで一番なつくのが私でした。みなから「めんどろも見ないのになつかれていて感じ悪い」とヒンシュクをかっていました。子どもが持ってきた傷ついたアジサシのめんどろを見ていたこともありました。メキシコに来た当時，日本人学校の校舎にはスズメが大量に巣を作っていました。そのときには，よくヒナが廊下に落ちていました。それを子どもたちが見つけては校長室に持ってくるのです。しかたなく，校長室にダンボール箱を置いて，ヒナを何羽も飼っていました。最

近では，あろうことか，自宅の庭にまで野鳥のヒナが勝手に住みつくようになりました。しばらくして，やっどどこかに行ってくれたかと思うと，またいつの間にか新しいヒナが住みついているという念の入れようです（どなたか野鳥の好きな方，引き取っていただけないでしょうか）。

さて，鳥の生態から生まれた「啐啄同時（そつたくどうじ）」という言葉があります。ヒナが生まれ出る時に，内側からつついて卵のカラを割ることを「啐（そつ）」といい，同時に親鳥も外側からつついてカラを破ることを「啄（たく）」といいます。親子の共同作業でカラが破れ，ヒナが誕生するという意味です。親鳥の啄が一瞬でも誤ると，中のヒナ鳥の命があぶない。早くてもいけない，遅くてもいけない，危険な一瞬であり，啐啄は同時でなければなりません。

人の子育てにも「啐啄同時」の時期があります。保護者の働きかけと子どもの自発性が一致したときに，教育効果が最大になるといわれています。しかし，人間の子育ては，鳥の親子ほどには時期が明確ではありません。そこで，保護者は，子どもに働きかけるチャンスや自立させる時期に悩みながら，試行錯誤を繰り返すのです。ときには，「今こそ絶好のチャンス」と思って働きかけても，子どもの心に響かなかつたり，子どもが自分からやる気になっているときに，干渉し過ぎたりということも起こります。では，どのようにしたら「啐啄同時」のチャンスがつかめるのでしょうか。それは「子どもの理解に努める」ということに尽きると思います。子どもの興味や関心，心身の発達などをよく観察しながら，「啐啄同時」の時期を見定めるのです。その結果，保護者の働きかけと，子どもの納

得のタイミングがぴたりと合えば、教育の効果は大きくなります。さらにそのことにより、両者の心が通じ合い、子どもは大きく成長することになるでしょう。

さて、私が世話したヒナたちはみな自立が早く、傷が癒えると、さっさと飛んで行ってしまいます。寂しくもありますが、それが自然界の摂理であり、むしろ鳥の成長や自立を喜ぶべきなのでしょう。（校長 大越邦生）

### 児童生徒総会について

本校の児童生徒会活動は、小学部4年生以上の全員が、6つの委員会に分かれ、学校生活をよりよくするために積極的に活動しています。今月から後期の活動が始まります。それではここで、後期の組織づくりから児童生徒総会までの日程を紹介します。

9月30日…各クラスで委員会の担当決定  
3日…各委員会ごとの委員長・副委員長決定  
7日…各委員会ごとに活動計画書  
(議案書)の作成

14日…学級討議で活動計画書の検討

24日…児童生徒総会で活動計画書の検討

24日に行われる児童生徒総会では、各委員会が作成した活動計画書を全員で審議し、承認するかしないかを決めます。各委員会は、ここで否決されることがないように、一生懸命、活動計画書をつくりまします。多くの児童や生徒は、よりよい学校を目指して質問したり意見を発表したりします。そのため、活発な意見交換が行われ、自分たちの生活環境をよりよくしていこうとする姿勢が培われています。（児童生徒会担当 藤田 充）

### 本校の教育相談について

学校における教育相談とは、個人のもつ悩

みや問題の解決を支援し、その生活に適応させ、成長への援助を図るものです。本校のように海外で生活を送る児童生徒にとっても、とても意義深い活動であると捉えています。そこで本校では日常的な児童生徒理解に加え、定期的な教育相談週間を各学期に設け、悩みや問題の早期解決に取り組んでいます。

1学期：宿泊学習・スクールキャンプ直後

2学期：運動会終了直後

3学期：パルケマラソン終了直後

定期教育相談週間では、学級担任が中休みや昼休みに児童生徒と個人面談を行います。

(教育相談担当 齋藤 新吉)

### 10月行事予定

3日(月)	委員会(後期開始), 教育相談週間(9日まで), カレーの日
5日(水)	クラブ活動
7日(金)	ファイターズ
8日(土)	親子サッカー(ファイターズ)
10日(月)	中間テスト(中)
14日(金)	Q-U検査
15日(土)	学校公開, クラブ活動 (前期最終), 進路説明会(中2, 中3)
17日(月)	15日(土)の振替休業日
18日(火)	避難訓練(水害)
19日(水)	クラブ活動(後期開始)
21日(金)	ファイターズ
22日(土)	実力テスト(中3)
24日(月)	児童生徒総会, 豚井の日
26日(水)	クラブ活動
28日(金)	ファイターズ
30日(日)	サマータイム終了
31日(月)	委員会活動, 仮装の日, カレーの日